

CSRマネジメント

CSRマネジメントの考え方

私たちはCSRを推進・発展させていくためには、ステークホルダーとの対話が重要だと考えています。「情報を提供する」というような一方通行の流れではなく、「考え方を共有する」という行動様式へと転換し、双方向のコミュニケーションを促進させることによって信頼関係づくりを目指します。

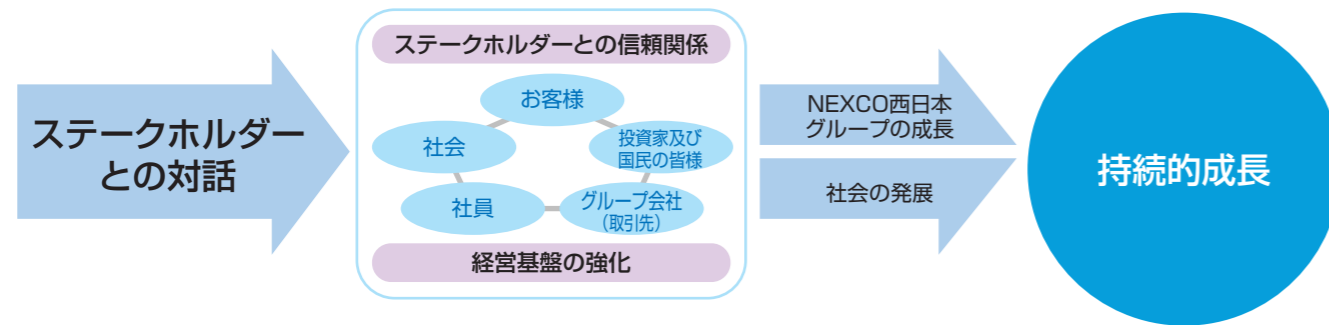
中でも、お客様、投資家及び国民の皆様、社会、社員、グループ会社（取引先）の5つのステークホルダーを特に重要なものにとらえ、その期待（ニーズ）を的確に把握し、事業活動のプロセスにフィードバックします。

このようにステークホルダーからの期待に応えることで、企業価値が高まるとともに、社員のモチベーションも向上します。さらに、これが社会の持続的な

発展とNEXCO西日本グループの成長を同時に実現するという良い循環を生み出すものと考えています。

NEXCO西日本グループのCSR活動方針

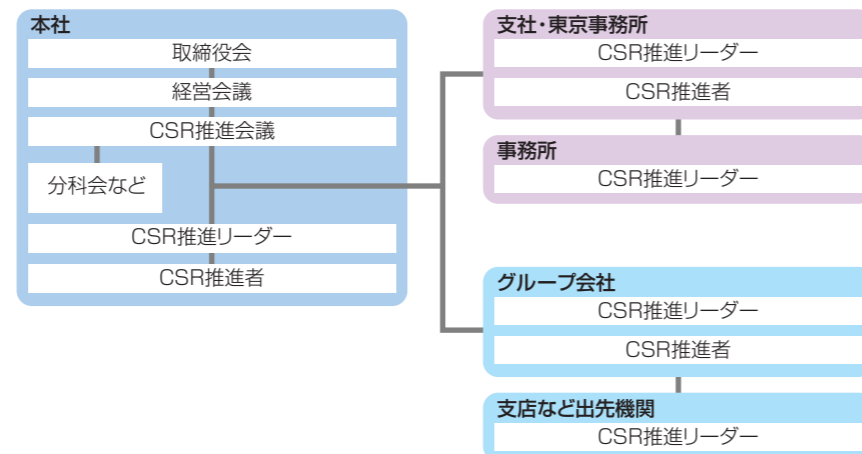
1. 経営の透明性を確保し説明責任を果たすとともに、ステークホルダーとの対話と交流を促進します。
2. ステークホルダーの期待を事業活動のプロセスに組み込み、本業で企業としての責任を果たします。
3. 公共事業者としての社会的役割、これまで培ったノウハウや資源を生かして、社会が抱える課題解決に取り組み、社会の持続的発展に貢献します。



CSRマネジメント推進体制

NEXCO西日本グループでは、グループ全体でCSRの取り組みを推進していくため、2008年9月にCSR推進体制を立ち上げました。本社に部門長で構成するCSR推進会議を設置し、部門横断的な合議体制を構築しました。

また、各組織にCSR推進リーダー、CSR推進者を配置することで、推進に向けた組織内の役割を明確にし、組織間の連携を強化しています。



社外ステークホルダーとのコミュニケーションの実施

NEXCO西日本グループでは、異業種に携わっておられる社外の方々とのコミュニケーションにも取り組んでいます。

大阪ボランティア協会による勉強会

2008年12月には大阪ボランティア協会さまが実施している自主勉強会（出席者25名）にて（株）ワコールホールディングスさまと合同でレポートおよびCSRの取り組みについてご説明をさせていただきCSR報告書のあり方についてご意見を頂戴しました。

いただいたご意見の一部

- 現場の取り組み、現場での事業活動を支える“技術”についてさらに報告すべき。
- 網羅的な報告になっており、アピールしたいポイントが不明瞭。目標の具体化、指標化も不足。
- ステークホルダーの意見をさらに反映させるべき。
- NEXCO西日本グループが目指すCSRについて概念をさらに訴求すべき。



勉強会の様子

ゲンゼ（株）さまとの意見交換会

また、2009年1月には、ゲンゼ（株）さまと弊社グループのCSR担当者合同で意見交換会を開催し、社内でのCSR推進役としての意見交換あるいは、当社のお客さまというお立場からもさまざまなご意見を頂戴しました。

いただいたご意見の一部

- CSRを事業経営へ落とし込むべき姿がインフラ事業者という立場から特殊だと理解できた。
- CO₂削減など環境対策については、自動車業界とのタイアップなども必要だと思う。
- 小冊子の作成や視覚的な工夫など報告書のわかり易さに配慮すべき。



意見交換会の様子

グループ社員に対するCSR教育の実施

NEXCO西日本グループでは、社員一人ひとりにCSR推進のための意識向上の機会を提供するために、2008年度から各職場単位でCSRレポートを活用した「CSRレポートを読む会」を開催しています。この取り組みは、これまで環境コミュニケーションとして定期的実施してきた社員向け環境教育を包括して実施しているもので、CSRを自らの課題として捉えるきっかけづくりや社員同士のコミュニケーション促進にもつながっています。

「CSRレポートを読む会」は、2009年度にかけて実施し、中堅社員およびグループ会社幹部を対象にしたコースⅠを東京を含む6会場にて延べ8回、開催しました。このコースⅠには約270人が参加し、受講者は各職場に戻って自ら講師としてコースⅡとする二次講習を実施しました。これまでにグループ社員全体の約30%にあたる約3500人（2009年6月末現在）が受講しています。

CSRレポートを読む会の開催内容

- ① CSR基礎講座（一般知識の理解を深める）
- ② CSRレポートの解説（CSR報告書のポイントについて理解する）
- ③ 環境コミュニケーション（社員の環境教育を促進）
- ④ 課題解決型グループワーク（ケースメソッドを採用した討議）



「CSRレポートを読む会」開催状況

CSRに関する意識調査

NEXCO西日本では定期的にCSRに関する意識調査を実施しており、2008年4月の調査に続いて、2009年5月にも社員アンケート調査を実施、基礎データの把握（浸透度の定量化）を行っています。この結果、「ことばの意味がわかる」「具体的に説明ができる」と回答した者の割合が前回調査に比べて71%から89%に増加しています。

